



海田西小学校  
通級指導教室だより No.12  
令和3年11月8日(月)

## 通級では、例えばこんな支援をしています！（一例を紹介）

### カッとなりやすい、暴言・暴力が出やすい子



#### ・基本は、未然防止！

→どんな時にイライラしやすいか、その時どうなるか等を整理し、自分の特性を知る。  
事前に、爆発しそうになったらどうするか、クールダウンの方法を、決めておく。  
爆発せずに、カッとなる気持ちをおさえられた時は、すぐに褒める。

#### ・失敗やトラブルに対して、「なぜ～？」「どうして～？」と聞かない。

→いったん気持ちを受け止める。  
落ち着いてから、適切な言動を教える。

それは、悔しかったよね。



#### ・主語を「あなた」ではなく、「私」にする。

→「私は、〇〇な気持ちになったよ。」  
「私は、こうしてくれたら嬉しいな。」など、  
自分側の気持ちを伝える。  
（「あなたは～」は、相手のイライラを増加させることも。）



#### ・あれもこれも叱らない。

→気になることが複数あっても、優先順位をつけて1つに絞る。  
（「危険なこと」「他者の迷惑になること」）  
人格や性格は否定せず、不適切な行動のみを指摘する。  
簡潔に、短い言葉で。理由を分かりやすく伝える。

良いところを見つけて、  
たくさん褒めてあげま  
しょう。  
自己肯定感が上がると、  
情緒も安定してきます。



#### ・不適切な言動はスルーする。

→注意をひきたくてわざとやっている行動には、反応しない。（危険な行動はすぐに止める！）  
良い言動の時に反応し、しっかり褒める。

#### ・絵カードを活用する。

→約束したことを絵カードにしておき、意識づける。

## 言われていることが分からない，うまく聞き取れない子



### ・目線を合わせて，ゆっくり話す。

→子どもの動きを止めて，正面から話す。

### ・一つずつ伝える。

→理解できたら，次のことを伝える。



今から大事なことを  
3つ言うよ。  
一つ目は・・・

### ・短い言葉で伝える。

→ワンセンテンスをできるだけ短くする。  
後付けは，しない。

### ・「あれ」「それ」/「しっかり」「ちゃんと」は，使わない。

→子どもが具体的にイメージできる言葉を使う。

(例)

- ×「それ，ちゃんと片付けて。」
- 「プリントは，緑のかごの中に入れてみましょう。」

- ×「ていねいに書きましょう。」
- 「枠からはみ出ないように書きましょう。」

### ・初めに結論を伝える。

→何をすればよいのか，イメージが持てるように，ゴールを示す。

### ・視覚支援をする。

→箇条書き・絵やイラスト・身振り手振り等，その子が理解しやすいものを用意する。

一番困っているのは，子ども自身。  
周りの大人は，怒るのではなく，  
子どもの視点に立って，  
困らないように支援したり，  
解決方法を示したりできるといいですね。

